

## 春の息吹を感じて

寒い中、いかがお過ごしでしょうか。  
一月二十二日曜日には旧正月を迎え、門司の和布刈神社ではワカメを刈り取り神前に供える和布刈神事も行われました。寒風の中にも春の息吹を感じる今日この頃ですが、早春の香りをもとめて双葉苑近くの三岳梅林を訪ねてみました。

この梅林は、かつては護聖寺の茶園であったこの土地に、昭和天皇ご成婚記念として地元の人々が梅を植えたのが始まりといわれ、昭和五十四年に北九州市が開園した歴史があります。

花の頃には手作り農産品を売る露店も出て梅見客でにぎわう観光地です。

入所者様のお一人は若い頃、手入れをされたよう約七十年ぶりの「再会」を喜ばれていました。



若いころ、自分が手入れた梅の木と七十年ぶりの対面を果たし、懐かしそうに語る入所者様

### ふたばよもやま話 (第二回)

#### ～安徳天皇と隠蓑(かくれみの)～

平安時代末期の1185年、関門海峡壇ノ浦で源平最後の戦いが行われ、敗れた平家はこの地で滅亡しました。

平家は幼い安徳天皇を奉じ、戦いに臨みます。海戦を得意とする平家の優勢で戦いは進みますが、潮の流れが変わると次第に源氏有利となり、平家一門は幼い天皇とともに関門海峡の水底に沈んで行くことになります。

幼い天皇の亡骸は翌日漁師の網のかかり、天皇を祀る赤間神宮に隣接する阿弥陀寺陵に葬られたと言われていました。しかしここに一つのロマンある伝説が生まれます。安徳天皇は壇ノ浦で亡くってはならず、落ち延びて天寿を全うしたという話です。

山口県豊田町(下関市)や長崎県対馬、四国など安徳天皇の墓と言われるものがあり、いずれも宮内庁の陵墓参考地となっています。小倉南区の隠蓑もその一つで、源氏の追手から逃れるために蓑をかけて天皇を隠したため隠蓑という地名になったと言われ、安徳天皇の供養塔が建てられています。

双葉苑近くにもこのようなロマンあふれる地があるのには、驚きですね。



331

J R 志井公園駅



職員と早春を楽しむ入所者様



**職員紹介コーナー**  
今回は介護副主任の佐々木啓太さんです。令和5年1月1日をもって介護副主任に任命された佐々木さんですが、介護の資格の他、保育士など数々の資格をもつマルチな人です。保育という仕事に造詣の深い佐々木さんは入所者様はもちろんスタッフにも優しく接し、人気の介護副主任です



子どもも高齢者も大好きな佐々木副主任

#### 今月の予定 (3月)

ますゆき皮膚科回診

2日(木曜日)

ひな祭り

5日(日曜日)

石橋医院回診(毎月曜日)

6日、13日、20日、27日

ビューティヘルパー

15日(水曜日)

小倉北歯科回診(毎月曜日)

2日、9日、16日、23日、30日

健康体操(毎月曜日)

2日、9日、16日、23日、30日

#### お知らせ

新型コロナウイルスは落ち着きつつありますが、インフルエンザの流行が見られるようになりました。ひきつづき入所者様の安全を第一に考え、手洗い消毒はこまめに行うよう、スタッフには徹底的に指導を行っています。

ご家族様は何卒ご安心いただきますよう、お知らせいたします。

#### 【編集後記】

▼手探りで始めた広報誌ですが、なんとか次号発行できることになりました▼広報は、利用者様の大家族に近況を知っていただくという大きな目的に他、スタッフ間のコミュニケーション作りという大切な目的があります▼広報は一人で作るものではありません。内容を検討し、協議を行わなくてはなりません。内容が適切であるか、誤字脱字がないのか、主任をはじめ、みなさんのご意見を頂戴しなくてはなりません。この一連の作業の中に会話も生まれます▼入所者様も重要な「取材対象」です。紙面の都合で全員の紹介は難しいですが、少しずつご紹介させていただいたり、入所者様のお話を元にした紙面構成ができたことも考えています。▼情報発信元が暗い気持ちではないものはできません。お気軽な編集者二人を温かい目でまもり、伸び伸びとした広報づくりの場を与えてくださった主任をはじめ、スタッフの皆様がこの場をお借りしてお礼申し上げます  
【編集責任】M.O.M